

いずくらゆうた 伊豆倉雄太 県政レポート

平成31年1月号 Vol.7



発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。

当選当初より、少子高齢化に伴う人口減少をどのようにすれば少しでも改善できるか、より良い住みやすい市原にするかを考えて行動してきました。日頃より、地域の皆様からのご要望を伺いながら、行政に対し意見をぶつけ、時には一般質問を通して訴えてまいりました。

全国的に見れば、市原は恵まれている地域だとは思いますが、しかし、それを実感している方は少ないのではないのでしょうか。医療、保育、環境、インフラや道路交通網など、市原に課せられた課題は山積しております。そうしたものを一つずつ改善し、今年よりも来年、来年よりも再来年と、少しでも、皆様が住みやすく、また住みたいと思えるような街づくりの一助となるように邁進してまいります。

千葉県議会議員 伊豆倉雄太



平成30年8月31日 文部科学省丹羽文部科学副大臣に要望書を提出

市原市の公立小・中学校の学校施設整備の支援に係る予算の確保に向けて文部科学省に対して要望書を提出。

日々若さと行動力をモットーに、千葉県の発展のために活動している伊豆倉雄太県議(市原市選出、1期)は、平成30年8月31日文部科学省において松野前文部科学大臣と丹羽文部科学副大臣に対し、市内小・中学校の施設整備の支援に係る予算の確保に向けて左記の内容の要望書を提出いたしました。

市原市すべての公立小・中学校の教室にエアコン設置を実現するために要望書を提出。



●国として、子どもの命を守る為の公立小・中学校空調設備の整備に係る支援のための予算の確保を確実な確保をお願いしたい。
●その際、来年度の設置に向けて、本年度から整備を行う自治体を支援することが可能なスケジュールの設定をお願いしたい。
●併せて、学校施設整備については、空

調設備の整備のみならず、学校施設の長寿命化、非構造部材の耐震化、トイレの洋式化などを計画的に推進する必要があることから、学校施設整備の支援に係る予算の大幅な拡充をお願いしたい。
公立小・中学校では様々な暑さ対策・熱中症予防策が取られてきたが、今年の夏のように災害並みの酷暑に対して、これまで通りの対策では限界があるため、一日も早くエアコンを整備するために伊豆倉県議は要望し、実現に向けて行動しています。



県民の暮らしを大切に、より充実させるために全力を上げて取り組んでいる。ちば自民党は、県政に対して様々な要望活動を行ってまいります。昨年10月には、昨夏の猛暑を受け、森田健作知事に、すべての県立高校普通教室へのエアコン設置を求める要望書を提出しました。

すべての県立高校教室にエアコン設置を実現。

県政と市原市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

いずくら雄太県議事務所

〒290-0081 市原市五井中央西2-11-5

TEL:0436-37-1777

FAX:0436-37-1331

いずくら雄太の公式ウェブサイトもご覧ください。

いずくら雄太 検索 <http://izukurayuta.com>



壇上から循環器病センターの存続を訴える伊豆倉県議

伊豆倉議員 千葉 県循環器病センターの統合は、地元のみならず周辺地域にとっても大きな衝撃だったはず。国の新公立病院改革ガイドラインは、公立病院に期待することとして、政策医療として採算性が少なく、民間病院の進出が厳しいからこそ、県立病院の果たす役割が大きい事を示しており、だからこそ周辺地域からの要望や意見が出る

病院長 いただいていのではないでしようか。いた意見書や署名等については、地域における循環器病センターの役割に対する期待として重く受け止めております。引き続き、県民が安心して医療を受けられることが重要であるとの認識のもと、循環器病センターの診療体制の維持確保に努めてまいります。

今回の6月の定例会議にて登壇し、県循環器病センターの病院統合問題について県の対応を厳しく追及いたしました。また、地元市原や周辺の市町村の代表として、白紙撤回に向けて熱い答弁を交わしました。

千葉県循環器病センター病院統合を白紙撤回し、存続することを強く訴え県が全力で取り組む考えに！

2月予算委員会でも県循環器病センターの存続を強く訴えました!!

(平成30年2月定例会 予算委員会会議録より)

県循環器病センターの医師の増員は心よりよろしくお願いたします。地理的状況から見ましても、この鶴舞の千葉県循環器病センターの機能維持というのは、周辺市町村にとって死活問題であります。そして、千葉市の方々にとっても、(仮称)総合救急災害医療センター基準設計を早く進めることを望んでおられると思います。私も早期に再開すべきだというふうに思います。これ以上の人口流出を防ぐためにも、病院機能の維持、継続は大事なことであります。白紙撤回、そして医師の補充も強く要望いたします。



伊豆倉県議の県議会デビューは、平成28年12月定例会議で一般質問においての若さと行動力で「市原保険医療圏に救急救命センターを」を実現するべく一般質問をして市原保険医療圏の県民にとって三次救急医療は念願であり、救急救命センターがあるという



ことは大きな安心につながります。非常に高いハードルですが市原保険医療圏の三次救急の設置に向けて強く要望をいたしました。

市原に救急救命センターを！ (3次救急整備は市民の念願)

帝京大学ちば総合医療センターが、平成29年4月1日三次救急医療を提供する救命救急センターに指定されました。指定後は、重篤な救急患者の受け入れが行われることになり、本市の救急医療体制が充実・強化され、救命率や予後の改善など救命救急の向上が期待することができます。



県では、老朽化した消防学校を市原スポーツパーク脇の県有地に移転改築し、平成31年度中の全面開校を目指して、平成28年12月から建築工事に着手し、現在順調に工事が進捗しております。

皆様方のご協力もあり、一部施設については本年5月までに完成し、6月より当該施設にて先行して訓練を実施予定です。



消防学校・防災研修センター 完成イメージ

市原八幡高校

施設名
①教育棟・防災研修センター
②宿泊棟
③屋内訓練場・防災備蓄倉庫
④車庫棟
⑤水難救助訓練施設
⑥地下街・トンネル訓練施設
⑦総合訓練塔
⑧救助訓練塔
⑨市街地救助訓練塔
⑩水防訓練場
⑪震災訓練場

整備計画の概要
建築用地:市原市菊間783番1
面積:約6.2ヘクタール
施設規模:約16,900平方メートル
整備期間:平成27年度～平成30年度(平成31年度中に全面供用)

今後のスケジュール(予定)
平成28年12月～平成31年3月:建設工事
平成30年6月:一部施設先行供用開始
平成31年度中:全面開校
平成29年4月1日

消防学校・防災研修センター整備について



要望
現在、人口推移は人の獲得しあいになっていいると思えます。地元で育ち、地元で働きたいという子どもたちが、地域の特性を生かし、高校生のうちから自分の将来設計を立てられ、働くそのスキルを身に付ける、そんな魅力ある県立学校づくりの推進にこれからの尽力に期待したい！

要望
「教育立県ちば」プランでは、今後の魅力ある高等学校づくりの方向性を示し、「社会の変化に対応し、活力があり、生徒それぞれの豊かな学びを支え、地域のニーズにこたえる、魅力ある県立高等学校づくりを目指す」ことについて。

平成22年3月に策定された千葉県教育振興基本計画「みんなで取り組む教育立県ちば」プランでは、今後の魅力ある高等学校づくりの方向性を示し、「社会の変化に対応し、活力があり、生徒それぞれの豊かな学びを支え、地域のニーズにこたえる、魅力ある県立高等学校づくりを目指す」ことについて。

①魅力ある県立学校づくりについて

②消防団への支援について

地域の生活環境改善に対し、具体的な進捗状況を問う!!

県政と市原市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

いずくら雄太県議事務所 〒290-0081 市原市五井中央西2-11-5
TEL:0436-37-1777 FAX:0436-37-1331

いずくら雄太の公式ウェブサイトもご覧ください。
いずくら雄太 検索 http://izukurayuta.com

ホームページが新しくなりました!

【所属委員会】健康福祉常任委員会
【略 歴】昭和58年(1983年)生まれ 平成11年 市原市立加茂中学校卒業
平成14年 私立志学館高等学校卒業 平成18年 東洋大学法学部卒業
平成18年 衆議院議員 林幹雄 元秘書
【所属団体】市原市消防団、一般社団法人市原青年会議所

要望
都市部と郡部では考え方も違うかもしれませんが、どのようになれば正団員が増えるのか、また団員の活動がしやすい環境はどうか、地域の事情を今一度考え、再考いただきたいと思います!

消防団員が深刻な減少傾向にあるが、県としての対策について。